

受験番号 番

得点

〈問題五を除く〉

二										
4						3	2		1	
ところ に、	つ	韻	認	ず	る	差	ア イ ウ エ	b	a	ア
	て	律	定	、	に	し		泣	野	イ
	い	や	す	短	も	込		泣	あ	ウ
	る	調	る	歌	か	ま		泣	あ	ウ
		べ	に	と	か	れ		く	ふ	エ
		を	足	し	わ	て		短	れ	エ
	保	る	て	ら	い	に				

22						6	4	4	4	4	配点	
	部分点を与える。											注意事項

一						
2	1					
無道 人短、 無説己之 長。	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
	謝	演	直	つくろ	据す	ほうこう
	辞	奏	ち	う	え	香

11	2	2	2	2	1	1	1	配点
	採点に当たっては、「常用漢字表(付)字体についての解説」および「常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)」をふまえ、採点基準を定めること。裏面に、「常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)」の「字形比較表」の一部を示している。							注意事項

四												
4		3	2							1		
b	a	ア イ ウ エ	ありうるから。	実	さ	い	い	使	意	的	使	A B C D
こ	開			化	せ	方	方	わ	味	可	う	
れ	か			す	、	を	と	れ	で	能	こ	
か	れ			る	そ	人	は	て	は	性	と	
ら	た			こと	れ	に	別	い	、	と	の	
の	建			が大いに	が	想	の	る	現	い	潜	
			現	像	使	使	在	う	在			

21	4	4	4			6	3	配点	
	部分点を与える。								注意事項

三									
3						2	1		
b			a			ア イ ウ エ	A B C D		
す	す	年	く	い	と			に	後
ので、	す	月	る	考	は			考	にな
	ん	が	え	え	異			え	って
	で	学	が	な	た			は	
	ゆ	問	こ	出	る			こ	じ
	く	は	こと	は	よ	と	め		

16	4			4	4	4	配点
	部分点を与える。		部分点を与える。				注意事項

(注意事項)

- 解答状況を把握した上で、下記の観点に基づき、採点基準の例を参考にしながら、各学校において採点基準をつくること。
- 採点した結果が、配点のすべての段階にわたるように留意すること。
- 採点者は2名以上とし、各答案をそれぞれ2名以上で、20点満点で採点すること。
- 得点については、各採点の平均をとり、小数点以下の端数は四捨五入すること。

(観点)

- 指示された条件にしたがって、自分の考えが書かれていること。
  - 内容
    - 主題や要旨が明確であること。
    - 根拠や例示が的確であること。
    - 文章の展開が論理的であること。
  - 表記
- (14点)
- (6点)

(採点基準の例)

	S	A	B	C
内容についての採点基準の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 主題や要旨が非常に明快で、主旨を明確に読み取ることができ、きわめて説得力がある。</li> <li>• 考えの根拠が妥当できわめて説得力があり、例示が非常に具体的で分かりやすい。</li> <li>• 論理が非常に明確で、筋道を立てて構成されており、文章がきわめて円滑に展開されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 主題や要旨が明快で、主旨を明確に読み取ることができ。</li> <li>• 考えの根拠が妥当であり、例示が具体的で分かりやすい。</li> <li>• 論理が明確で、筋道を立てて構成されており、文章が円滑に展開されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 主題や要旨に明快でないところがあり、主旨をあまり明確に読み取ることができない。</li> <li>• 考えの根拠に妥当でないところがあり、例示があまり具体的でなくやや分かりにくい。</li> <li>• 論理があまり明確でなく、筋道を立てて構成されていないところがあり、文章があまり円滑に展開されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 主題や要旨が全く明快でなく、主旨を読み取ることができない。</li> <li>• 考えの根拠が全く妥当でなく、例示が具体的でなく非常に分かりにくい。</li> <li>• 論理が不明確で、筋道を立てて構成されておらず、文章が全く円滑に展開されていない。</li> </ul>
表記についての採点基準の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 原稿用紙の使い方が正しい。</li> <li>• 誤字や脱字がなく、漢字が適切に用いられている。</li> <li>• 語句の用法が適切である。</li> <li>• 文の成分の順序や照応が適切である。</li> </ul>			

※関連項目についても確認すること。

番号	常用漢字表	代表音訓	配当学年	印刷文字の字形の例	手書き文字の字形の例	第2章関連項目	第3章Q&A関連項目
(4)	1418	直	2	直直直直	直直 直直 など	3-(1),4-(1)(2)(3)	Q34,54,58,61,62
(5)	101	演	5	演演演演	演演 演演 など	4-(1)(2)(3)	Q40,58,61,62
	1222	奏	6	奏奏奏奏	奏奏 奏奏 など	4-(1)(2)(4)(6)	Q34,58,60,65,68
(6)	852	謝	5	謝謝謝謝	謝謝 謝謝 など	4-(2)(3)(6)	Q43,62,64
	821	辞	4	辞辞辞辞	辞辞 辞辞 など	4-(1)(2)(3)(4)	Q54,61,71